

第七十五回
帝國議會
貴族院

國民體力管理法案特別委員會會議事速記録第六號

昭和十五年三月九日(土曜日)午後一時三十分開會

○委員長(子爵野村益三君) 是ヨリ開會致シマス

○政府委員(佐々木芳遠君) 一昨日山川委員カラノ御質問デ、管理ノ對象ニ、大體今日迄ハ物ヲ對象トシテ居タト云フ、其ノ物以外ニ何カ用語例ハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、其ノ後調べテ見マシタラ、御手許ニ資料トシテ差上ゲデアリマス通り、大分澤山ノ勅令ノ中ニ、人ヲ對象トシタ管理ト云フ言葉ヲ使ッテ居ル例ガ澤山ゴザイマスデ、參考ノ爲ニ之ヲ御手許ニ差上ゲタ次第デアリマス、御諒承願ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 先達テ委員長カラノ御質問ガゴザイマシタ人口問題ニ付テ、國民體力向上ノ問題ヲ現ニドウ云フ風ニ取上ゲテ居ルカ、又今後ソレヲドウ取扱ッテ行クカト云フ御尋ニ對シマシテ、御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、人口問題ニ對スル對策ト致シマシテハ、申ス迄モナク人口ノ量ノ問題ト併セテ人口ノ質ノ向上改善ト云フ、此ノ二ツノ問題ガ最モ大切デアアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、殊ニ現在我が國ノ戰時下ノ情勢ニ於キマシテハ、數ノ増加ト云フコトガ先ヅ考ヘラレナケレバナラナイト同時ニ、如何ニ數ガ増加致シマシテモ、質ノ劣タ體力ノ弱イ者デアリマシテハ何ニモナラナイコトデゴザイマスカラ、ソコデ出生率ノ増加ニ致シマシテモ、或ハ死亡率ノ

低下ト云フコトニ致シマシテモ、ソレ等數ノ問題ト併セマシテ、結局國民ノ個々ノ質ヲ良クスルト云フコトガ、基本的條件トシテ取入レラレナケレバナラナイ次第デアリマス、從ッテ國民體力ノ向上ト云フ問題ハ、人口對策ノ中ノ最モ重要ナ部分ヲ形成スルモノト考ヘテ居ルコトデゴザイマス、先般設置致シマシタ人口問題研究所、是ハ既ニ開設致シテ居ルノデアリマス、其處ニ於キマシテ人口問題ニ關スル綜合的ノ研究調査ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマスガ、主トシテ此ノ人口問題研究所ニ於キマシテハ、申サバ社會科學的ナ見地カラ人口ノ數ノ問題ト云フモノヲ取扱フヤウナ仕組デ、質ニ全然觸レナイノデアリマセスガ、主トシテ量ノ問題、數ノ問題、其ノ靜態並ニ動態等ニ關スル研究ヲ致ス譯デアリマスガ、其處ノ研究ヲシテ意義アラシムル爲ニハ、地域のニモ亦數量的ニモ廣汎ナ科學的ナ資料ヲ前提トシテ必要トスルノデアリマス、此ノ國民體力管理法ト云フモノガ實施ヲ見マスルコトニナリマス云フト、其ノ體力検査ノ結果ヲ集計致シ之ヲ按配スルコトニ依リマシテ、人口ノ質ニ關スル極メテ有益ナ資料ガ得ラレコトニナルト思フノデアリマス、例ヘテ申セバ國民體力ノ缺陷ガ何處ニアルカ、ソレハ都市ト農村トデハ體力ニ如何ナル違ヒガ現レテ居ルカ、或ハ職業ニ依ッテドノヤウナ影響ヲ體力ニ及シテ居ルカ、又ソレガ人口ノ、先達モ御論議ノ出マシタヤウナ、都市集中ノ現象ニ伴ッテドウ

變化シツ、アルカ、或ハ又時局産業ト云フモノガ、青少年或ハ一般勞務者ノ體力ニ如何ニ影響シツ、アルカト云フヤウナ、體力検査ノ結果ヲ集計致シマシテ、具體的ニ調査スルコトニ依リマシテ、ソレ等ノ貴重ナ資料ガ得ラレル譯デアリマス、是ト併セマシテ全體ノ數ノ問題ト云フモノヲ扱ヒ、人口問題ヲ取扱フト云フコトニ依リマシテ、初メテ人口問題ノ適正ナル解決ノ方法ヲ擱ヘテ行クコトニナルト思ヒマス、尙附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、質ノ問題ニ付キマシテハ、強チ人口問題ノミトハ限リマセスガ人間ノ質ノ問題ト云フコトノ科學的研究機關ト致シマシテハ、明年度カラ新タニ他ノ諸機關ト併セテ、科學的研究ニ新ラシイ出發點ト申シマスガ、體系ヲ以テ進ミマスル厚生科學研究所ニ於キマシテモ、有益ナル内容ノ研究ガ出來ルト思フノデアリマス、此ノ體力管理法ニ關スル調ハソレ等トモ十分ナ牽聯ヲ持タシテ、人口ノ量並ニ質ニ關スル問題ノ改善解決ト云フコトニ資スルヤウニ取賄ッテ行キタイト思ヒマス、尙又ソレ等ノ問題ヲ取扱ヒマス各種ノ民間團體ガ數々アルノデアリマスガ、ソレ等ノ民間ノ研究機關、學術振興會ト云フ有力ナ民間ノ機關ガゴザイマス、ソレ等ノモノトモ密接ナ聯携ヲ保チマシテ、サウシテ此ノ全國的ニ行ハレマス體力検査ノ實績ト云フモノガ、ソレ等ノ專門ノ研究ト結ビ付イテ、ソコニ日本國民ヲ量的ニモ質的ニモ國家目的ニ適合スル如クニ導イテ行キマス指針ヲ得タイ、斯

様ナ考ヲ持ッテ居ル譯デゴザイマス、概略當局ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマシテ御答ト致シマス、尙他ノ部分ニ付キマシテハ、企畫院方面ノ御説明ヲ求メラレテ居リマスカラ、企畫院次長ガ今日ノ御出席ニナツテ居リマスカラ、其ノ方ハ企畫院次長ヨリ御説明ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○政府委員(植村甲午郎君) 一昨日委員長カラ、國民體力管理ト人的資源ニ關スル動員計畫トノ關聯ニ付テ御質問ガアッタノデアリマスガ、人的動員ヲ致シマスルニ付キマシテハ、國民ノ體力ヲ向上致シマスコトガ最モ緊要ナモノデアリ、且基礎的ナ條件デアアルコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、企畫院ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ人的資源ニ關シマシテ、勞務動員ノ計畫ヲ昭和十四年度カラ立テマシテ實施シテ居リマス、其ノ計畫ニ於キマシテ矢張り勞務者ニ付キマシテ體力ノ向上ト云フコトニ關聯シテ計畫ヲ致シテ居リマス、例ヘバ勞務者ノ生活刷新、心身修練、特ニ青少年勞務者ノ體資増強ト云フヤウナ點ニモ觸レテ居リマスルシ、又就業時間ト云フヤウナ點、或ハ工場、事業場等ノ保健衛生施設ト云フヤウナ、矢張り體力ト關聯致シマスル事項ニ付キマシテ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙將來ニ互リマシテ國民全般ノ人的動員ニ關シマスル計畫ヲ樹立スルコトニ、只今著々準備ヲ致シテ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ、更ニ是等ノ國民全般ノ體力ノ向上ト云フコトニ付キマシテ、對策

ヲ研究樹立スル方針デヤツテ居リマス、即チ國民ノ體資或ハ増殖力ノ増強、又勞働時間、休日、體育、技倆、榮養、災害防止ト云フヤウナ勞務ノ保持増進ノ方策、更ニ進シテハ國民生活全般ニ付テノ是等ノ觀點カラ致シマスル刷新ト云フヤウナ點ニ付テモ、計畫ヲ致シヤウニ研究ヲ進メタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、從ヒマシテ企畫院ニ於キマシテ樹立致シマスル計畫ハ、勞務ノ需給調整ト云フヤウナ數字ノ計畫ノ外、養成計畫デアルトカ、或ハ體資増強計畫デアルトカ云フヤウナ長期ニ亙ル事項モ考ニ入レテ參ルノデアリマス、而シテ計畫ハ斯クノ如ク致シマシテ立テマスルガ、之ヲ具體的ニ實行致シマスル具體方策竝ニ其ノ實施ト云フ問題ハ、是ハ各關係省ニ於テ之ヲ擔任スルモノデアリマシテ、此ノ國民體力管理法案ト云フモノニ付キマシテモ、只今申上ゲマシタ計畫ト相呼應シテ厚生省ニ於テ樹立セラレタモノデアリマシテ、此ノ人的動員ノ計畫樹立竝ニ其ノ遂行ト云フ點カラ見マシテ、最モ基礎的ナ重要ナモノト存ズル次第デゴザイマス

○委員長(子爵野村三喜) 大體御話ヲ承リマシタガ、私ハ御話ダケ承ッテ、更ニ御尋ハシナイ積デアッタノデアリマス、ト云フノハ議事ノ進行上私ガ餘リ彼此言フノモドウカト云フ風ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、併シ考ヘテ見マスルト、非常ニ只今ハ好イ機會デ、此ノ機會ヲ逸シテハ我々ノ所論ヲ申述ベル機會ガ近ク到來スルカドウカ分ラナイト思フノデ、甚ダ御迷惑デアリマスガ、暫ク時間ヲ拜借シテ再ビ質疑ヲ御許ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、只今厚生大臣竝ニ企畫院次長、次長ハ企畫院ノ意思ヲ代表

サレテノ御話ガアッタノデアリマス、人口ノ數ト量、數ノ方ハ大體御話デ分リマシタガ、質ヲ向上スルト云フ點ニ於テドウモ物足りナイヤウニ思フノデアリマス、又御話ノ次第ヲ實行スルノハナカ／＼ムツカシイ、容易デナイト云フコトヲ適切ニ感ズルノデアリマス、ソコデ少シク内容ニ付テ御話ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、先刻次長ハ企畫院ノ人的資源、人的總動員ト云フモノト本法案、國民體力管理法トノ關係ヲ述ベテ下サイマシタガ、私ノ御尋ネショウトシタノハ、モウ少シ廣イ意味デ、國民體力ノ向上トノ關係デアッタノデアリマス、併シ御話デ大體其ノ點モ了解致シマシタ、致シマシタガ、更ニ御尋ネ致シタイト云フコトハ、矢張り質ニ關スル問題デアリマスガ、ドウモ質ニ關スル御考竝ニ施設ト云フモノガ、我々カラ見テ十分デナイト思フノデアリマス、尙只今申シタヤウニ、今日ノ行政機構ヲ以テシテハ、我々ノ考ヘテ居ルヤウナ體力ノ向上ト云フモノガ、近キ將來ニ於テ實現サレルカドウカト云フコトヲ非常ニ憂フルノデアリマス、例ヘバ質ノ問題ニ致シマシテモ、是ハ無論數ニ關係シマスケレドモ、國民體力ノ向上ヲ圖ルノニハ、先ヅ以テ環境ノ改善ヲシナケレバナラス、環境ヲ良クスル、今日申ス衛生施設トカ保健施設トカ云フヤウナモノヲ改善致シマシテ、大體ニ於テ清ラカナ空氣、徹底シタ光線等ヲ十分ニ與ヘナケレバナラス、第二ハ榮養問題デアリマス、此ノ榮養問題ハナカ／＼ムツカシイ問題デアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テ私ハ企畫院ニ於テモ亦直接關係シテ居ル農林省ニ於テモ、マダ徹底ラシテ居ラス、今日ノ我ガ國民ノ攝ッテ居ル榮養價值ト

云フモノハ決シテ十分デナイ、蛋白質ノヤウナモノニ致シマシテモ、自ラソコニ説ガアリマシテ、其ノ基準ニ充タナイ、我々ハ夙ニ我ガ國民ニ榮養資源ヲ供給スルニハ水産物ニ依ルベシト云フ説ヲ十年來唱ヘテ居ルノデアリマス、而モ其ノ水産物ヲ以テ供給スルトシテモ、現在ノ供給量デハ足ラナイ、動物性ノ蛋白質ヲ供給スルニハ足ラナイ、端的ニ申セバ、今供給シテ居ルダケノモノヲ供給シナケレバ本當ノ基準の榮養分ハ攝ラレナイ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマス、恐ラク農林當局ト雖モサウ云フヤウナ御考ヲ持ッテ居ルマイト思フ、第三ハ體鍊ノ問題デアリマス、文部省ガ此ノ體鍊局ヲ拵ヘラレルサウデ、非常ニハ喜バシイコトト思ヒマス、併シナガラ體鍊、體育ト申シテモ自ラ法則ガアル、ソレハ端的ニ申スト適當ナル方法ヲ適當ナル時期ニ適當ナル量ヲ加ヘナケレバナラス、果シテサウ云フ風ナ計畫ハ立ッテ居リマセウカ、私ハ現在今迄ノ文部省、殊ニ體育方面デハマダ立ッテ居ラナイ、樹ッテ居ッテモ實行ハシテ居ラヌト思ヒマス、此ノ間基準ト云フ御話ガ出マシテ、私ハ新タニ考ヘサセラレタノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトヲ決メテ、決メルコトガ既ニムツカシイ、決メテ而シテ之ヲ實行スルト云フコトニ移ルノニハ、端的ニ申上ゲルト昭和十五年ノ三月九日ニ申上ゲルノデハ、私ハ厚生省ノ力、文部省ノ力デハ私ハムツカシイト思ヒマス、ソコデ私ハ企畫院ニ呼ビ掛ケルノデアリマス、處デ企畫院ニ於テハ、マダ物的動員ノ方ニ、支那事變ノ對策ノ方ニ追ハレテ、人的ノ計畫ノ方ニハチヨット足ヲ踏ミ入レラレタバカリデアッテ、是カラヤラウト仰シヤル、幸

ニシテ厚生省ニ於テモ斯ウ云フヤウナ重要ナル案ヲ出サレテ之ヲ實行ニ移スト云フ場合デアリマスカラ、企畫院ニ於カレテモ十分御考ニナッテ、サウシテ此ノ案ヲ働カセル、十分ニ働カセルト云フコトニヨリ以上ノ御盡力ヲ願ヒタイト思フ、ソコデ私ハ試ミニ伺ッテ見タイトハ、此ノ基準ノ問題デアリマス、見透シノ問題デアリマス、誠ニ都合ノ好イ言葉デアリマスケレドモ、併シナカナカ此ノ見透シト云フコトハムツカシイ、例ヘバ國民ノ體力向上ニ付テハ色々ノ問題ガアルガ、ソレハ本法案ガ實施セラレタ曉ニ於テハ自ラ解決セラルル、斯ウ仰シヤル、我々モ御尤ト考ヘテ居ルンデアリマスガ、此ノ案ノ實行サレルノハ果シテ何時デアリマスカ、又實行サレルノニ付テ、我々ガ希望シテ居ル全體ニ實行シ得ルカドウカ、私ハ此ノ邊ニ付テ聊カ心配ヲ致ス者デアリマス、ソレデ寧ロ是カラハ具體的ノ例ヲ擧ゲテ教ヲ請ヒタイトデアリマス、私ハ専門家デアリマセヌカラ、其ノ考ヘテ居ルコトガ果シテ妥當デアアルカドウカト云フコトハ分ラナイノデアリマスガ、幸ナ機會デアアルノデ教ヲ請ヒタイト思フノデス、ソレハ第一ニハ、此ノ間參考書ヲ頂戴致シマシタガ、我ガ國民ノ衛生保健ノ狀態ニ付テノ統計的ノ資料デアリマスガ、私ハ是ハ根據ガアツテ、所謂我々ノ重要ナル資料ニナルモノト云フ前提ノ下ニ御尋ラスルノデス、第一、肺結核ノ問題デアリマス、結核ノ問題デアリマス、是ハ當局ノ御努力ニ依リマシテ、所謂國民病ノ病者モ竝ニ死亡者モ多少減ッテ居ル傾向ヲ持ッテ居ル、幾ラカ減ッテ居ル傾向ヲ持ッテ居ル、併シナガラ此ノ文明國ニ

アルマジキ傳染病ノ如キモノハ減ジテハ居
ナイ、年ヲ逐ウテ増シテ居ル、此ノ間モ現ニ
天然痘ガ、アラウコトガアルマイコトカ花
ノオ江戸ノ真中ニ出テ居ルト云フ狀態デア
リマシテ、全體カラ通觀シテモ増加シテ居ル
ノデアリマス、ソレカラ 陛下ノ思召ニ依ッ
テ當局ガ非常ニ御努力ニナッテ居ル癩病患
者ノ如キモノ、是モ左シテ……幾ラカハ減ッ
居リマスケレドモ、是モ此ノ四五五年著シイ
減退ト云フモノハ見ラレナイノデアリマス、
僅カ一萬五千デスカ、其ノ位ノ癩病患者ヲ
收容シテヤルト云フヤウナコトハ、私ハ國
家ノ仕事カラ言ヘバ何デモナイコトと思フ、
ソレハ計畫ト云フモノガ私カラ言ハセレバ
樹ッテ居ラス、唯出來ルダケ輕減セシメル、
マア何レノ時ニカ無クスルト云フコトデア
ラウト思フノデアリマス、傳染病デモサウ
デス、之ヲドノ位迄ノ率ニ、今日カラ見テ
計畫ヲ樹デラレル範圍ニ於テシタナラバ、
何年間デドノ位ノ率ニ迄低減セシメヨウ、
ト云フ計畫ガ立ッテ居ラナイカラ著シイ效
果ガ擧ガラナイと思フ、ソレカラ例ノ乳兒
ノ死亡ニ付テモサウデアル、是トモ成ルベ
ク減スト云フヤウナ考デアルノデ、成ルベク
減サウト云フノ何日ニナッたら減ルノカ、
ドウモソイツハ分ラナイ、ソレカラ例ノ近
頃俄ニ問題ニナッ所ノ眼ノ病氣、是ノ如キ
ハ私ハモウ七八年前カラ言ッテ居ル、今日ノ
狀態ヲ見マシテモ、學校ノ程度ノ進ムニ從ッ
此ノ眼ノ患者ト云フモノガ多イ、而モ十年間
ヲ考ヘテ見ルトグン、増シテ居ル、是デ宜
イト云フコトハ言ヘナイ、ケレドモ之ヲドノ
邊迄ニ喰止メ得ラレルカ、喰止メナケレバナ
ラスカト云フ計畫ハ立ッテ居ラナイ、私ハサ
ウ云フコトハ立チ得ルモノト思フ、外國ノ

事例ニ對照シテモ分ルシ、ソレカラ今日ノ
色々々設備カラ考ヘテ見デモ、學問ノ程度
カラ考ヘテ見デモ、凡ソ是ハドノ位、何年
掛ッテ一ツ低減セシメヨウト云フヤウナ計
畫ガ立チサウナモノダラウト思フ、其ノ計
畫ヲ立テナイト、何日ニナッたら吾々ノ理想
トスルヤウナ此ノ樂境ガ實現スルカ分ラナ
イ、ソレカラ日本固有ノ寄生蟲ノ問題デア
リマス、是モ七十六「パーセント」デスカ、
其ノ中ニ蠅蟲ノ者ガ六十何「パーセント」ト
云フモノガアル、ソレデ南洋ノ群島ニ行ク
ト島民ガソコラ中ニ排泄物ヲ垂レ流シテ居
ルガ、斯ウ云フヤウナ所デモ七十何「パー
セント」ナンデアリマス、此ノ帝國ノ國民
ノ寄生蟲保有者ガ、南洋ノ島民ト同ジヤウ
ナモノヲ才腹ノ中ニ持ッテ居ルト云フコト
ハ、一體ドウ云フコトデアルカ、是ノ對策
モ内務省アタリデモ前カラ立ッテ居ルガ、ソ
レガ行ハレナイ、依然トシテ我が帝都ニ於
テハ排泄物ト云フモノハ不完全ナル取扱
ノ下ニ、寄生蟲ノ蔓延ヲ來シツ、アル、
サウシテ一方ニ於テマア硫酸、窒素肥料、
非常ナ金肥ヲ使ッテ居ル、斯ウ云フ此ノ窒素
肥料ト云フモノハ空シクナッテ居ル、斯ウ云
フヤウナコトハ私ハ非常ナ矛盾ダと思フ、
デサウ云フ風ニ色々考ヘテ見マストデスネ、
ドウモ唯宜クシヨウ、唯低減シヨウト云フ
コトニ違ヒナイ、例ヘバ死亡率ノ如キモド
ウデセウカ、我が國ノ死亡率ハ十七・四〇デ、
コンナ高イモノハチヨット世界ニ外ニハナ
イ、幸ニシテ出生率ガ二十六・七〇ト云フ高
率ヲ保ッテ居ルノデ、我が子孫ト云フモノハ
僅カニ殖エテ居ル、ケレドモ大體カラ言ヒ
マスレバ、澤山産シテ澤山殺シテ居ル、私
ハコンナ愚策ハナイと思フ、荷モ人口問題

ヲ論ジ、荷モ國民體力ノ向上ヲ論ズル時ト
場合ト人ニハ、斯ウ云フ重大ナ事實ヲ閑却
スルコトハ出來ナイ、此ノ間戴キマシタ表
ヲ色々組合ハシテ考ヘテ見ルト、非常ニ面
白イ現象ガアル、是ハマア私ノ彼此今申ス
所デハアリマセヌガ、ソレモ一體ドウシタ
ラ宜イカ、例ヘバ多ク産シテ多ク殺スト、
斯ウ云フコトニ對シテハドウスル、ソレカ
ラ少ク産シテ少ク殺シテ居ル所ニハドウ云
フ對策ヲ用ヒル、ソレカラ澤山産シテ殺ス
コトハ少イト云フコトヲ徹底的ニ獎勵スル
對策ト云フモノヲ私ハ聞カナイ、處ガ其ノ
中デ最モ恐ロシイ澤山ニ殺シテ産ムコトガ
少イト云フ現象ガ方々ニアル、公衆衛生院
ニ於テハ非常ナ努力ト時日ヲ費ヤサレテ、
富山縣デサウ云フ御調ベガアツタ、ケレド
モ對策ト云フモノハドウスル、私ガ石川縣
ニ行ッタ時ニハ、コンナ鹽梅デハ石川縣ト云
フ縣ハ無クナッテシマフノダト云フ風ニ、縣
知事ニモ忠告シタノデアリマス、ソレニ反シ
テ鳥取ト云フヤウナ小サイ所デハ、非常ニ
壯丁ノ成績ガ好イノデアル、其處へ行ッテ、
ドウシテ鳥取縣デハコンナニ壯丁ノ成績ガ
好イノダト云フコトヲ聽イテモ、地方長官
ハ分ラナイ、斯ウ云フ地方ノ特殊狀態ヲ研
究スルト云フノニハ非常ナ時間ト努力ヲ要
スル、又科學的取扱ヲ要スル、サウ云フヤ
ウナコトヲ色々調ベルノニハ、一體何處デ
調ベルト云ヘバ、厚生省デ調ベルト云フノ
デスケレドモ、今迄ノ厚生省ノヤリ方デ行ッ
タナラバ、サウ云フ特異ノ現象ヲ調ベルノ
ニ、何年掛ルカ分ラナイ、其ノウチニ石川
縣ハ無クナッヤフカモ知レナイ、私ガドウモ
斯ウ云フコトヲ言フト、一體ソレコソ國ノ
總力ヲ擧ゲテヤラナケレバイカスト思フ、

人口問題、殊ニ國民ノ體位向上ニ付テハ、無
論此ノ法案ガ行ハレタ曉ニハ、非常ニ改善
サレルコトハ言フ迄モナイ、ケレドモソレ
モ先程申上ゲタヤウニ、何年後デアアル、又
果シテ其ノ間ニ豫期ノ成績ガ擧ゲラレルカ
ドウカト云フコトニ付テハ、非常ニ憂フル、
ソコデ一體企畫院アタリデモト乘リ出シ
テ、此ノ國民體力向上ノ問題ニ付テハヤラ
レ、國ヲ擧ゲテ之ニ力ヲ注グト云フコトニ
ナッテ欲シイト思フ、併シサウ云フ風ナ決心
ヲサレテモ、見透シガ付カヌケレバ何トモ
手が著カヌ、ソコデ私ハ教ヲ請ヒタイト云
フノハ、先刻申上ゲタヤウナ事項ニ付テ、
見透シガ付クモノカ付カナイモノカ、付ケ
得ルモノカ付ケ得ナイモノカ、ト云フコト
ヲ今日只今承ッテ置キタイト思フ、ソレダケ
デアリマス
○政府委員(植村甲午郎君) 只今國民ノ衛
生施設體力ノ向上、其ノ他全般ニ互リマシ
テ諸般ノ政策ト云フモノガ、本當ノ見透シ
ヲ以テヤッテ居ラナイヤウデアアル、本當ノ見
透シヲ以テヤラナケレバ、其ノ目的ノ到達
ハ困難デハナイカ、又問題ソレ自體ハ國ト
シテ最モ重要ナ問題デアアルガ、是等ノ見透
シニ付テ、只今ノ所ドウ考ヘルカ、ト云フ
ヤウナ御質問デアツタト拜承致シタノデアリ
マスガ、此ノ企畫院ト致シマシテ、人ノ問
題ニ付テノ計畫ヲ致シテ居リマスル現狀カ
ラ申上ゲマスルト、先程モ申上ゲマシタヤ
ウニ工場並ニ鑛山等ノ勞務者ノ關係ヲ、十
四年カラ計畫ヲ始メタノデアリマス、更ニ
國民全般ニ互リマスル計畫ヲ是カラ始メル
所デアリマス爲ニ、準備ヲ致シテ居リマス
ルガ、只今ノ所デハマダ是カラノ計畫ノ問
題デアリマシテ、其ノ計畫ヲ致シマシタ結

果カラ只今御尋ノヤウナ點ニ付テノ見透シハ付キ兼ネルヤウナ狀況デゴザイマス、併シナガラ其ノ計畫ニ於キマシテモ、出來ルダケ御趣旨ノヤウナ所ヲ採入レマシテ、計畫ノ具體性ヲ與ヘテ參ル必要ガアルト存ジマスルシ、又第一回ノ國民全般ニ關スル計畫デアリマスルカラ、其ノ中ニハ計畫ガ事務的ニ準備ガ進ミマセス盛リ難イ點モ出テ參ルカモ知レマセス、ソレ等ニ付キマシテモ各省ノソレノ所管ニ於テ行ハレマスル所ニ付キマシテ、或ハ連絡促進ト云フヤウナ意味ニ於キマシテ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、問題ノ重大性ニ鑑ミマシテ、現狀ニ於テ許サレル出來ルダケノ效果ヲ舉ゲルト云フ目標デ進ンデ參リタイト存ジテ居リマス

○國務大臣(吉田茂君) 只今御話ニナリマシタ國民ノ質ノ問題ニ付キマシテノ諸ノ不十分ナ點ヲ御指摘ニナリマシテ、誠ニ私共モ其ノコトヲ痛感致シテ居ル次第デゴザイマス、之ノ計畫見透シ付ケルト云フコトニ付キマシテハ、御質問ノ中ニモアリマシタ通りニ、國策ノ根本ヲ決メラレル企畫院ニ於キマシテ、國家全面的ナ大切ナ問題トシテ取纏メラレルト云フコトガ最も必要ナコトデアラウト思フノデアリマス、是等ノ問題ヲ當面擔當致シマスル厚生省ト致シマシテモ、一ツノ問題ガ國家ノ根本ニ關スルモノニ付キマシテハ、之ヲ自分ノ所ダケデ取扱ハズニ、何時モ出來得マスル限リ企畫院ヲ中心ニシテ、例ヘバ御例示ノ中ニアリマシタ營養改善ノ問題等ニ於キマシテモ、營養ノ研究其ノモノハ厚生省デ比較的其ノ研究機關ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ國民營養ヲドウシテ充實スルカト云フ

問題ニナリマスルト、農林省、商工省ノ方ノ所管ニ及ビマス、之ヲ適正ニ解決致シマスル爲ニハ、國家全體ノ有ラユル機構ノ協カト云フコトヲ求メネバナラス、サウ云フコトニ付キマシテモ、全體ノ見透シ付ケ、方策ヲ立テルト云フコトハ企畫院ヲ中心ニシテ一ツ取決メテ貫フコトデアリマセヌケレバ、各省バラバラデハ效用ヲ舉ゲニクイノデアリマス、私マダ就任日淺ウゴザイマシテ十分ニソレ等ノコトヲ努力致ス暇ガナイノデゴザイマスガ、茲ニ三箇月ノ間ニ、自分ノ所ダケデ決メナイデ企畫院ニ持込ミマシテ、各省ノ方々ト知能ヲ一ニシ、力ヲ併セマシテ出來ルダケ一ツノモノニスルト云フ方針デ居ルノデアリマス、是ハ各省デ持ッテ來ルノヲ企畫院デ持ッテ居ルノデナク寧ロ能動的ニ左様ナコトヲ御計畫下サルコトガ本旨ダト思ヒマス、今日御承知ノ通り、此ノ戰時動員ト云フコトノ物的ニモ人的ニモ非常ニ事務ガ繁劇デアラレマスルノデ、基礎的ナ分ニ付テハ今後ノ御盡力ニ非常ニ俟ツ所ガ多カラウト思フノデアリマス是デ目先ノコトダケハ……目先ノコトモウマク行カナイヤウナ非常ニ憂慮スベキヤウナ事態ニ立至ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレ等ノコトハ無論企畫院デモ十分御考ヘデアリマスノデ、ソレノ所管省ト致シマシテハ、ソレノ綜合的ナ立場ニ立ッテ企畫院ノ企畫ナリ研究ナリト云フモノト緊密ナ連絡ヲ保ッテ行クト云フコトハ必要ダラウト思フノデアリマス、色々ナ結核、傳染病、癩、乳幼児ノ死亡、眼ノ病氣、寄生蟲何レモ誠ニ文明國トシテオ恥シイ狀態ニアリマスコトハ御指摘ノ通りデアリマス、是等モ大部分ハ逐次改善ノ

方向ヲ辿ッテ居リマスルコトハ、差上ゲマシタ資料デモ御諒承願ヘルト思フノデアリマス、其處ニ計畫性ガナイ、サウシテ今ノヤウナ快クナリ方デ快クナッテ行ッテハ、今後何年経ッたら是デ略、十分ト云フコトニナルカ見込ハ立タナイ、癩ノ如キハ計畫ハ持ッテ居リマスガ、御承知ノ通り非常ニソレハ氣ノ長イ計畫デアル、結核ノ如キモ當分ノ計畫ハアリマスケレドモ、結核患者ガドレダケ減ルト云フ徹底シタ計畫ガナイデヤナイカト云フヤウナ御話デ、誠ニ左様ニナッテ居ルノデアリマス、是迄政府ト致シマシテモ、或ハ全體ノ國民ト致シマシテモ、サウ云フ點ニ關スル骨折ガ十分デナカッタデヤナイカ、十分デナイ所ニ持ッテ來テ、ソロソロ我ガ國ニモ人口ノ自然増加率ノ遞減ト云フコトヲ見始メルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、出生率ガ低下シツ、死亡率モ餘リ低下シナイト云フヤウナ憂慮スベキ現象が見ラレマスシ、近時殊ニ人口ノ都市集中ノ傾向ガ非常ナ速力ヲ以テ顯著ニ現レツ、アルヤウナ情勢デアリマスルシ、銃後ノ各種ノ混亂ニ伴ヒマスル死亡率ノ増加ト云フコトモ非常ニ憂慮スベキ狀態ヲ示シテ居リマス、今迄ノ用意ニ於テ十分デナカッタ點ガアルデハナイカト云フコトヲ御指摘ニナリマスレバ、誠ニ私共モソレヲソウデナイト申上ゲル譯ニ行カナイヤウナコトニナッテ居リマスコトハ、刻下ノ深憂デアルト思ヒマス、及ズナガラ是非サウ云フ問題ニ付キマシテ、今日ノ現狀ニ應ジ、國家百年ノ計トシテ十分ナ科學的基礎ニ立チマシテ計畫ヲ以テ、此ノ問題ヲ解決スルト云フコトニ全カヲ盡シマセスト、將來ノ日本ノ人口ノ量ノ問題、質ノ問題モ非常ニ憂慮スベキ狀態

ニ立到ツテシマヒハセヌカト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ル次第デアリマス、全ク御質問ノ御趣意ト憂ヲ同ジウシテ居ル譯デアリマス、是ハ唯憂慮シテ居ルト云フダケデハ濟マナイコトデアリマス、是非全力ヲ盡シマシテ此ノ問題ニ處シタイ、斯様ナ覺悟ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシテ御答ト致シマス

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ別ニ其ノ方ノ御質問ハゴザイマセヌカ……御質問ガナケレバ討論ニ入りタイト思ヒマスガ、黒田男爵御發言ヲ願ヒマセウ

○男爵黒田長和君 私ハ修正ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、本案ハ私ト致シマシテモ大層結構ナ立派ナ案ダト考ヘテ居リマス、然ルニ唯一ツ何トシテモ見遁スコトノ出來ナイ、感服出來ナイ文字ガ使ッテアルト思フノデアリマス、ソレハ「體力管理」ノ管理ト云フ文字デアリマス、故ニ私ハ「管理」ヲ適當ナ文字ニ改メナケレバナラスト云フ動議ヲ提出致スノデアリマス、右ノ理由ヲ述ベマス前ニ、私ハ一言政府當局諸公ニ向ッテ申上ゲテ御了解ヲ得タイト思フノデアリマス、本案ハ政府當局諸公ノ一方ナラス御苦心ヲ以テ研究ヲ積マレ、其ノ上衆議會ノ議定經テ作製サレタ案デアリマス故ニ、當局ノ方々トシテハ是ハ最も完璧ナ案デアルト云フ自信ヲ持ッテ御提出ニナッタモノト考ヘマス、從ッテ今私ガ修正ノ動議ヲ提出スルト云フコトハサザカシ不快ニ感ゼラレルコトデアリマセウ、是ハ重々私ハ御察シ申上ゲルノデアリマスガ、併シ私ト致シマシテハ長イ間考ヘタコトデアリマスシ、是ハ厚生大臣モ御存知ノコトデアリマスノデ、又尊敬スル多クノ先輩同僚ノ方々ノ御意見モ仰ギマシ

タ結果、何トシテモ是ハ私ハ主張シナケレ
バナラスト考ヘタ譯デアリマス、併シ決シ
テ私ハ政府ヲ攻撃スルトカ、或ハ當局ノ御
言葉ノ末ヲ捉ヘテ論ズルトカ、又ハ冷酷ナ
ル非難ヲ加ヘルトカ、サウ云フヤウナ意思
ハ毛頭私ハ持ッテ居ラナイノデアリマス、此
ノ非常時ニ於テ斯様ナ重要ナ案ヲ政府ト共
ニ協力シテ検討シテ、良キガ上ニモ良キヤ
ウニシタイト云フ念願ニ外ナラナイノ
デアリマス、併シ此ノ考ヘ方ハ政府ニ
對シテ常ニ相對的立場ニアル私議員ト
致シマシテハ、少シ間違ッタコトカモ知
レナイノデアリマスガ、此ノ非常時デ
アリマス故ニ、已ムヲ得ナイコトデア
リマス、右ノ如キ考ヘ下ニ修正ヲ主張
スルノデアリマスカラ、何卒政府當局
諸公ニ於カセラレマシテモ、寛大ナル
御心ヲ持ッテ冷靜ニ御聽キヲ願ヒタイト
思フノデアリマス、是ヨリ修正ノ理由ヲ
陳述致シマス、國家ガ國民ノ體力ヲ檢査シ
テ改善スルノデアル、ソレ故ニ「管理」ト云フ
言葉ガ最モ良ク當ルノデアルト云フ風ニ考
ヘラレタノデアリマセウ、即チ此ノ重大ナ
ル時局下ニ於キマシテ壯丁ノ體位ハ下向キ
ニナリ、死亡率ハ殖エ、出生率ハ減ズル、
サウシテ現在益々國家ハ國民ノ能力ヲ大イ
ニ要スル、斯様ナ事態ニ直面シテ、當局ハ
何トカシテ國民體位ノ向上ヲ最モ適切ナル
方法ニ依ッテ圖ル必要ガアルト感ゼラレタ結
果、從來ハ國民體力ノ向上ハ本人ニ放任サレ
テ居ッタモノヲ、國家ガ立入ッテ管理シテ改
善シテ、サウシテ國家ノ用ニ當テルト云フ
方策ヲ考ヘラレタノガ此ノ法案トナッタノ
デアラウト存ジマス、此ノ考ヘ方ハ全體主
義國家ニハピッタリ合フノデアリマス、宜ナ

ル哉、數日前新聞ニ依ッテ承知致シマシタノ
デアリマスガ、此ノ法案ガ考究セラレテ居
ル時ニ、逸早く「ドイツ」ノ醫師會ハ此ノ國
民ノ體力ヲ國家ガ管理シテ改善スルト云フ
趣旨ハ妙案デアルトシテ、其ノ「コッビー」
ヲ貫ヒタイト云ッテ參タト云フコトデアリ
マス、此ノ制度ハ「ロシア」ニアルモノニ倣タ
ノデアルトノ風説ガ立ッタノデアリマスガ、
是ハ先日此ノコトヲ御尋ネシテ見タラ、當
局ハ本案ハ我が國獨得デアリマシテ、「ロシ
ア」ニモナイモノデアルト云フ御答ヲ得マ
シタ、「ロシア」ニモナイノニ斯カル風説ガ
立ッタト云フコトハ、何トナク是ハ日本のデ
ナイ、唯物主義的「イデオロギー」ノ句ガ聞
カレルカラデアアラウト思ヒマス、抑、管理ト
云フ言葉ハ普通物ニ對シテ用ヒラレル言葉
デアリマス、政府ハ其ノ例ガアルト云ッテ參
考書ヲ御配リニナリマシタケレドモ、是ハ
特例デアリマシテ、普通ニハ人間ニハ用ヒ
ナイ言葉デアリマス、ソレデ人間ヲ物ト考
ヘルコトニ依リマシテ、隨テ人格ヲ無視ス
ル結果ト相成リマス、又併シ是ハ人間ニ言
フノデハナイ、體力其ノモノヲ管理スルノ
デアルト云フヤウナ御言葉モアリマシタ
ガ、是ハ矢張り體力ト云フモノヲ本人カラ
取上ゲテ、物トシテ管理スルコトトナリマ
シテ、即チソレハ本人ノ意思ヲ無視シナケ
レバ出來ナイコトデアリマス、之ヲモウ一ツ
極端ニ申セバ、體力ト云フモノハ本人ノ所有
物デアアル、併シ其ノ使用ヲ束縛スルモノデア
ル、所有權ヲ與ヘテ置イテ、使用權ヲ束縛ス
ルノデアルト云フヤウナ理窟ニナルソデア
リマス、日本精神ニ於キマシテハ國民體力ハ
何處迄モ國民個々ノモノデ、體力ハ國民各
ガ其ノ獨特ノ見識ト誇リト以テ國家ニ御

盡シスル所ノ謂ハバ元手デアリマス、皇國
軍人ガ潔ク一身ヲ挺シテ戰場ニ奮闘スルノ
ハ、國家ガ改善強化シタ體力ヲ國家ガ働カ
セテ居ルノデアルト云フヤウナ觀念ニナッ
テハナラナイノデアリマス、軍人ハ自ら養
成シテ愛國心ト體力ヲ以テオノガジシ誇リ
ヲ以テ自發ニ君國ニ一命ヲ捧グルノデア
ルコトハ勿論デアリマス、我々ハ誰シモ國家
ニ御盡シスル爲ニ我ガ身ヲ大切ニシ、體力
ヲ強化養成スルトニ自ら努ムベキデアリマ
ス、ソコデ國民道德ノ見地ヨリシテモ、自
分ノ體力ガ管理サレテ居ルト云フヤウナ心
持ハ最モ忌ムベキデアリマス、即チ自分ノ
體力ハ管理サレテ居ルノデアルカラ病氣ト
ナッデモ自分ノ故デヤナイノダト言ッテ國家
ヲ恨ムト云フヤウナ氣持ヲ起サセル嫌ヒガ
アルノデアリマス、古ヨリ最モ人口ニ膾炙
シタ言葉ニ、身體髮膚之ヲ父母ニ受ク、敢
テ毀傷セザルハ孝ノ始ナリト云フコトガア
リマスガ、斯カル金言ハ何時迄モ最モ通俗
ナ力ヲ持タセテ置キタイモノデアリマス、
ソレ故ニ我が國ニ於テ國家ガ國民體力増進
策ヲ講ゼムト欲スレバ、宜シク國家ハ其ノ
深切ナル手ヲ差シ伸ベテ、國民各個ガ其ノ體
力ヲ向上サセルニ便宜ヲ與ヘ、助力ヲ爲スト
云フ觀念ニ於テ爲サルベキデアリマス、前述
ノ如ク、初メ此ノ案ヲ立案セラレマシタ時ハ、
急速ニ國民體位ヲ向上セシメタイト云フ念ニ
急デアラレタ爲ニ、體力ヲ本人カラ取上ゲテ、
手取り早く改善強化シテ使用スルト云フ
考ヘ方ニ依ラレタ觀ヲ呈スルニ至ッタノデ
アラウト存ジマス、然ルニ今日迄數日間此
ノ委員會ニ於キマシテ政府ノ御辯明ヲ承ッ
テ見マス、其ノ趣旨内容ニ於キマシテ決シ
テ國民ノ人格ヲ無視スルヤウナコトハナク、我

ガ日本精神ノ下ニ於テハ斯クナケレバナラ
スト申述ベマシタ如ク、國家ガ國民ヲ助ケ
テ其ノ體力ガ増進スルヤウニ圖ルノデ、
國民ハ益々自己ノ體力健康ヲ大事ニシテ強化
スルコトヲ自ら努力スルヤウ大イニ慫慂ス
ルノデアルトノ御趣意ハ反覆拜聽致シマシテ、
私ハ大イニ安堵シ且喜ブ者デアリマス、
即チ不穩當ナル所ヲ拾デテ、健全ナル趣旨
内容ニ導イテ來ラレタ御態度ヲ認メマシテ、
私ハ大臣ノ懸命ナル御努力ヲ多トシ且深ク
敬意ヲ表スル者デアリマス、然ルニ諸サウ
ナリマス、管理ト云フ言葉ハ當然此ノ法
案ノ趣旨ニソグハナイモノトナリマス、即
チ全ク當ラナイ文字トナルノデアリマス、
尙一點申述ベタク考ヘルコトガゴザイマス、
ソレハ思想問題デアリマス、思想問題ノ見
地カラ論ジマシテモ、管理ト云フ文字ハ避
ケタイト存ジマス、惡イ思想ガ外カラ浸潤
シテ參リマスノハ實ニ微妙ナル國民ノ心ノ
間隙ヲ迫ルモノデアリマシテ、之ヲ防グニ
ハ實ニ細心ノ注意ヲ政治家ガ拂ハナケレバ
ナラナイト存ジマス、國民體力ヲ管理スル
ト云フヤウナ言葉ハ何トナク唯物思想ヲ思
ハシムルモノデ、前述致シマシタ如ク全體
主義、或ハ專制主義國家ノ制度ニ相應シイ
ノデ、我が國民ガ知ラズ識ラズノ内ニサウ
云フ言葉ニ慣レテ行クト云フコトハ誠ニ恐
ロシイコトデアルト存ジマス、是ハ餘談ニ
ナリマスガ、物的資源ニ對シテ人の資源ト
云フ言葉ガ初メテ現レマシタ時ニハ我々ハ
是ハ不愉快ナ言葉デアルト思ヒマシタ、然
ルニ漸次時ガ経ツニ從ッテ之ニ慣ラサレテ、
今日デハ何トナク便利ナ言葉ト感ゼラレテ
參ッタヤウデアリマスガ、是ハ誠ニ憂フベキ
コトデハナイカト思ヒマス、斯様ナコトガ

我々ノ常識ヲ知ラズ識ラズノ間ニ至メテ行クノデハナイカト虞レルノデアリマス、治安維持法ノ適用ヲ受ケルヤウナ犯罪ノ現レマスコトヨリモ、長イ間掛ッテ知ラズ識ラズノ内ニ惡思想ガ浸潤スル方ガ一層恐ロシイノデアルト存ジマス、我々ハ眼前ニ其ノ適例ヲ見ルノデアリマス、近時英國ノ國力ハ衰ヘ、其ノ品位ハ下ッテ國家ハ衰頹ノ一途ヲ辿ツテ居ルヤウニ觀察サレマス、其ノ原因ハ多々アルデアリマセウガ、私ノ見ル所ニ依リマスレバソレハ左傾思想ノ感化ヲ國民ガ知ラズ識ラズノ内ニ受ケテ、其ノ國家觀念ガ次第ニ弛緩シタコトガ、其ノ主ナル因ヲ成シテ居ルト存ジマス、是ハ英國ノ歴史ヲ檢討致シマスレバ能ク分ルコトデ、是ハ誠ニ興味アル歴史ノ考究デゴザイマスガ、今茲ニ詳シク陳述スル時ハ持ッテ居リマセウガ、最モ簡單ニ其ノ筋道ダケ述ベサシテ戴キタイト思ヒマス、先ヅ十九世紀ノ初メニ「ヨーロッパ」ニ起リマシタ自由運動カラ辿ルコトガ出來ルト存ジマス、即チ其ノ時ニ英國民ハ高見ノ見物デアリマシタガ、思想上ノ衝撃ヲ受ケ、「フランス」革命ノ時ヨリシテ自由思想ニ襲ハレ、憲法改正迄唱ヘラレルニ至ッ時ニ、「エドマンド・バーク」等ノ國粹的政治家ニ依ッテ救ハレマシタガ、ソレヨリ此ノ方漸次自由思想、左傾思想ハ英國社會ニ浸潤シマシテ、多クノ勞働問題等起リマシタガ、是ハ一々申上ゲル暇ハアリマセウガ、政治的ニハ英國ノ憲政ニ一大變革ヲ與ヘタ千九百十一年ノ「パリアメント・アクト」ノ通過ニ依リマシテ、兩院制度ガ破壊シ去ラレマシタ出來事ガ起リマシタガ、是ハ思想問題トシテ大イニ意味ノ深いモノデアルト存ジマス、

昭和十五年三月十日印刷

然ルニ千九百十四年第一次歐洲大戰ガ勃發致シマスヤ、流石ニ英國國民ノ愛國心ハ振起セラレ、而シテ愈々英國ガ鋒ヲ執ッテ參戰スルニ當リマシテハ、下院ニ於テ首相及外相ガ行ヒマシタ演說ハ、實ニ堂々タルモノデ、一方ニハ大義名分ヲ翳シ、他方ニハ國防の實利ヲ説イタモノデアリマシタ、是其ノ昔「ナポレオン」ニ對シテ採ツタ態度ト全ク同ジデアリマス、然ルニ其ノ後戰爭ノ慘禍ヲ染々感ジマシタ結果、如何ナルコトヲ忍ンデモ戰ハ避クベキデアルト云フ思想ト共ニ、左傾思想ハ其ノ國民ノ弛緩シタ精神狀態ニ知ラズ識ラズ忍ビ寄ッテ居ツタデアリマス、併シソレデモ尙英人ハ冷靜デ、國礎ハ堅固デアルト言ハレタモノデアリマシタガ、今カラ考ヘテ見マスト、其ノ間色色左傾思想ニ蝕マレテ行キツ、アツク實例ヲ列擧スルコトガ出來ルノデゴザイマス、而シテ遂ニ條約上ノ義務ヲ自ら弊履ノ如ク捨テ「エチオピア」、「チエッコ」、「ポーランド」等々ニ見殺シニシテ小康ヲ貪ツタ等弱點ガ續々トシテ現レルニ至リマシタ、斯クノ如ク我々ハ眼前ニ前車ノ覆ルノヲ目撃シテ居ルノデアリマス、惡思想ノ浸潤スルノハ英國ノ例ニ於テ見ル如ク長イ間掛ッテ知ラズ識ラズノ内ニ行ハレマス故ニ、實ニ細心ノ注意ヲ以テセラレナケレバ、之ヲ防グコトガ出來ナイト存ジマス、國民體力ヲ管理スルト云フ思想ガ直チニ國家ヲ危クスルト云フノデアリマセウガ、其ノ一因トナツテハナラナイノデアリマス、ソコデ管理ノ代リニ如何ナル字句ヲ選ブベキカノ問題ニナリマガ、私ハ假ニ輔導ト云フ文字ヲ考ヘタノデアリマス、即チ輔導ノ字ハ車偏ノ輔ノ字、導ノ字ハ「ミチビク」ト云フ字デアリ

昭和十五年三月十日發行

貴族院

マス、私ガ輔導ト云フ字ヲ選ビマシタノハ、身體検査等ハ此ノ事業ノ大部分デアリマスケレドモ、是ハ兎ニ角手段ニ過ギマセウ、目的ハ國民ヲ輔ケテ其ノ體位ノ向上ヲ圖ルト云フコトニアルノデアリマス、故ニ輔導ト云フ目的ヲ表ハスコトガ至當ト考ヘマシテ、輔導ト云フ字ヲ選ンダノデアリマス、併シ私ハ決シテ之ニ固執スルモノデハアリマセウ、例ヘバ國民體力法案ト云ハレデモ差支ナイト思ヒマスシ、又色々アリマセウ唯其ノ人間ヲ物ノヤウニ考ヘ、右カラ左ニ、國民ノ力ヲ物ノヤウニ造リ上ゲテ行カウト云フヤウナ考ガ私ハ感心シナイノデアリマスカラ、別ニ私ハ輔導ト云フコトヲ固執致スノデアリマセウ、一層適切ナル文字ガ案出サレマスレバ、決シテ反對スルモノデアリマセウ、贊成スルニ吝ナラスノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 只今ノ黒田男爵ノ御提案ニ付テハ御賛成ノ方ガアルノデスカ

○男爵山川建君 贊成デス

○委員長(子爵野村益三君) 如何致シマセウカ、修正意見ニ御賛成ガアルノデ茲ニ議題トナリマシタガ、總テ修正意見ニ對スル討論ガ始ル譯デアリマスガ、其前ニ便宜上御懇談デモナサイマスナラバドウカト思ヒマスシ、又御懇談モ必要ガナイト云フ御考デアリマセウカ、皆サンノ御意見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○男爵黒田長和君 御懇談非常ニ結構デアラウト思ヒマス、私モ代案ニ付テハ非常ナ自信ヲ持ッテ申スノデハナイノデ、一層良イ言葉ガアルカモ知レナイト云フコトヲ考ヘテ居リマスカラ、……

貴族院事務局

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ此ノ儘懇談ニ入りマス

午後二時四十五分懇談會ニ移ル

午後三時六分懇談會ヲ終ル

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ是デ懇談會ヲ閉デマス、如何デゴザイマセウカ今日ハ此ノ位ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ來週ノ火曜、十二日ノ午前十時、斯ウ云フコトニ致シタイト存ジマス、御異議ガナケレバ左様ニ取計ラヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時七分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵野村 益三君
副委員長	男爵小池 正晃君
委員	公爵島津 忠承君 侯爵中御門 經泰君 伯爵山本 清君 子爵立花 種忠君 子爵實吉 純郎君 光行 次郎君 男爵黒田 長和君 男爵山川 建君 藤沼 庄平君 金杉英五郎君 平沼 亮三君 齋藤万壽雄君 岩田 三史君 吉田 茂君 厚生大臣
國務大臣	吉田 茂君
政府委員	企畫院次長 植村甲午郎君 文部政務次官 子爵舟橋 清實君 厚生省體力局長 佐々木 芳遠君 厚生省衛生局長 林 信夫君 厚生省豫防局長 高野 六郎君 厚生省書記官 曾我 梶松君

印刷者 内閣印刷局